

平成 27 年度 復興金融ネットワーク 活動方針

1. 復興金融ネットワーク交流会等の開催

- ① 「新しい東北」官民連携推進協議会に開催の時期に合わせて交流会（全体会合）を 2 回（平成 27 年 7 月及び平成 28 年 2 月）開催。
- ② ①に加え、より一層闊達な議論を行うべく、メンバーをいくつかのグループに分け、設定したテーマに沿って意見交換を行う「懇談会」を行う。
 - － 参加者は実務担当者レベルに限定
 - － 1つの懇談会は、6～8人程度（＋ファシリテーター（司会）と書記）
 - － テーマ（懇談会）は、各メンバーの希望等を踏まえ、4つ程度を想定。
 - － テーマ（懇談会）ごとに3回程度を予定。各回所要 1.5～2時間程度。開催時期は、平成 27 年 8 月～平成 28 年 1 月を予定。
 - － 懇談会での議論の結果を、交流会（全体会合）で報告し、メンバー全体で共有。

2. 「復興金融事例集（仮称）」の作成

- これまでの交流会で金融機関から出された良い事例に加え、更に以下のような分野から好事例を集め、金融面の事例集（『復興金融事例集（仮称）』）を作成する。
 - －復興に際して、積極的な被災事業者等への支援を行うための組織プロセス・体制を構築し、取り組んだ事例
 - －復興に際して、主に下記の分野で積極的な被災事業者等への支援を行った事例
 - ・被災企業へのニューマネーを（従来困難だが）出した事例
 - ・他の主体（含む非金融機関）と連携した事例（本業支援・販路開拓等）
 - ・被災事業者の事業再生（株東日本大震災事業者再生支援機構等との連携事例）
 - ・創造的な復興に向けた金融面での支援事例

3. 「新しい東北」復興ビジネスコンテスト

- 昨年度に引き続き、「新しい東北」復興ビジネスコンテストを開催。
現在「ビジネス部門」の募集を受け付けており、今後、以下のスケジュールで実施。
 - － 5 月 29 日～7 月 14 日 「ビジネス部門」募集
 - － 7 月下旬 第 1 次審査（事務局による書面審査）
 - － 9 月上旬 第 2 次審査（プレゼンテーション審査）（於：仙台市）
 - － 10 月中旬 表彰式（官民連携推進協議会フォーラムで開催）

※ 昨年度より前倒しし、受賞後のアフターフォロー期間を長く確保する。

- 今年度は協賛団体の御協力により、受賞者に対して賞金を提供する。

《賞金》※協賛団体の増加により変動する可能性があります。

大賞：30万円（1件）、優秀賞：5万円（5分野各1件）、企業賞：5万円

《協賛団体（五十音順）》

アイリスオーヤマ、イトーヨーカ堂、KDDI 総研、JTB、損害保険ジャパン日本興亜、野村ホールディングス、NTT 東日本、JR 東日本、みずほ銀行、三菱地所、LIXIL

- さらに、新たに「アイデア部門」を開催する。

- ー 被災地の事業者（昨年度受賞者）が抱える具体的な課題をテーマとして、被災地内外から幅広くアイデアを募集。新しいアイデアと被災地の取組が結びつき、新たな取組が生まれることを期待する。
- ー 受賞者に対しては賞金を提供。昨年度受賞者がアイデアに係る権利を取得し、実現に向けた検討を行う。具体的な取組に結びつく場合には、復興庁の支援施策等と連携した支援を行う。